

### 二〇一三年後半の出来事

八月十四日十一時より雲林寺本堂にて大施食会が行われました。法要前には「日本の歌コンサート」が行われました。法要には多くの檀信徒の皆様にお集まり頂き、御先祖様の精霊へ御供養して頂きました。

一〇月三〇日より一泊二日で第六教区の団体参拝行が実施されました。初日は真言宗別格本山の那谷寺を訪れ、栗原温泉にて宿泊致しました。翌日は大本山永平寺にて先祖様の供養が行われました。

十一月一日、長野原町の姉妹都市である米国モンタナ州のリビングストーン市よりお客様がみえました。習字や坐禅体験をして頂きました。



8月14日大施食会法要



11月1日リビングストーン市よりお客様

### 親睦ゴルフコンペに参加して

市村隆宏



優勝スピーチをする市村さん

私は二回目の参加でしたがメンバーにも恵まれ、楽しくプレーさせて頂きました。午後はやや雨が弱まって、残りのハイフも回らせてもらいましたが、終了後の雲林寺でのパーティーには大勢が集まってくれていました。

パーティーでは結果発表と賞品授与がありましたが、たくさんの賞品を提供して頂いた皆様には感謝しています。ハイフは和気藹々明るく和やかに進められ、知り合いも増え、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

集合写真は毎回撮って頂いており、しかも当日のパーティーで配られるのでとても良い記念になっています。これからも参加する皆様の日々の健康に注意し、できるだけたくさんの人が参加できるように願っています。私も楽しみにしています。ありがとうございました。



第5回 雲林寺親睦ゴルフコンペ 草津カントリークラブ 平成25年9月8日

結果発表	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
市村隆宏	金子幸人	野口正弥	一原昭朗	宮崎保	吉沢功	吉原昭朗	櫻井芳樹	櫻井芳樹	櫻井芳樹	櫻井芳樹
浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生	浅沼光生

### 感謝録

親睦ゴルフコンペの際は多くのご寄付を頂きました。ありがとうございます。

賞品 金一萬円

宿泊券 長

草津カントリーホテル様

## 大般若会 四月三日 一時より

大般若会とは、大般若経の経文を読む(転読)ことにより、その功德をもって、世界の平和や参列者の平安などを祈禱申し上げる法会です。

この転読とは、僧侶何人かで手分けして経本をアコーディオンのようにパラパラと広げてめぐって流し読むことで、それによって清らかな(般若(はんにや)の風)が起きるとされています。この清らかな風が当たることによって、昔より家内安全、厄難消除、商売繁昌などの利益があることとされており。

毎年この会では総代・世話人さんのみ参加されていましたが、本年よりどなたでも参列できるように致しました。是非皆様多数参列されて、転読による般若の清らかな風のご利益をお受け下さい。



## 野口茂四郎翁 一口口回忌法要

皆様、野口茂四郎という方はご存知でしょうか？

十一月十九日、雲林寺本堂にて、「茂四郎トンネル」で有名な野口茂四郎の一口口回忌法要が行われました。

川原畑出身の茂四郎は二十八歳の時に県議会議員に初当選します。郷土のさらなる発展には道路整備こそ最重要という強い思いから、県議会に「魔の難所」と呼ばれていた道陸神峠の開削案を提出しました。当時、吾妻渓谷を東西に結ぶ道路は狭くて険しかったです。

明治二十三年、補助金支出が可決されるも、県費だけでは足りず、茂四郎は自己の全財産をなげうって現在の国道一四五号の原形となる野口新道を明治二十八年に開通させました。これによって吾妻渓谷が天下の名勝として世に出ることになります。

茂四郎は第八代目の長野原町長も務め、長野原町に貢献した人物です。当山本堂に御位牌がありますので機会がありましたら御参りください。



11月7日 梅花流群馬県記念奉詠大会



### 講師さん募集中です!

雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌(梅花流)の会がございます。参加費無料。ご詠歌は、ご供養の気持ちを心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。

## 梅花流たより

第五六回梅花流群馬県奉詠大会が十一月七日高崎市民文化会館において開催されました。

今年度は午後一時からの開会なので早朝の慌ただしさから解放され屋敷も講員の皆様とゆっくりバスの中で頂きました。会場に着くといつものように宗務所梅花部青年会の方達の誘導によりホールの中へと移動します。

算郷文化会館は今回で二回目でしたが印象も薄くすっかり忘れていました。講員さんの中でこのホールを的確に覚えていらした方には脱帽といったところですね。

今年度は東日本大震災物故者の三回忌追善法要も行われ、これからは様々な形で支援を続けたいと考えています。

登壇奉詠曲は達磨大師御和讃、達磨大師御詠歌ですが、この曲は上級者の検定曲といえるので数ある御和讃御詠歌の中でも難しいとされています。しかし日頃の練習の成果が実ってとて上手にお唱えできました。登壇された皆様が終わった後、お顔の汗を拭いている姿が印象的でした。

清興として「いのちを語る琵琶妙音」と題して薩摩琵琶奏者の関川鶴祐先生をお迎えし、平家物語より祇園精舎、敦盛、壇ノ浦勸進帳、安宅の関とわかりやすい場面を選び一時間に渡っての熱演を鑑賞することができました。

閉会式では浄心の独詠に静坐してから全員で同行御和讃をお唱えして解散となりました。

## 孝順

小六宮崎泰地

### 表彰

宮崎泰地殿

今年八月、第四七回曹洞宗青少年書道展において曹洞宗宗務総長賞を受賞されました。おめでとうございました。

◇ものしりぶくろ◇

「なげ年玉というの?」

お年玉の語源は「年(神)の賜り(たまわ)物」といわれます。もともと正月に子どもにあげる小遣いではなく、年初の贈り物を年玉といっていました。室町時代の末から正月に贈答することが始まったといわれ、江戸時代以後、習慣となりました。町家では年玉と称して年賀の挨拶に紙や扇子などをもち歩き、贈る習わしがあったのです。

では、お年玉が子どもにあげる小遣いになったのはなぜでしょう。それは福の神とみなし、子に施すから余慶が得られると考えられたから、といわれています。

## 節分会

2月3日 夜7時から

厄年の方は是非厄払いの祈禱をお申込み下さい。

一般祈禱料2千円 記念品付祈禱料3千5百円

(記念品付祈禱料は当日会場の壇上へ上がって福豆をまいて頂きます)

お寺直接もしくは担当の世話人さんにお申込み下さい。※節分調¥500の方は節分会終了後福豆と御札をお渡ししております。詳しくは世話人さんに御相談ください。

### 平成26年 厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
女19歳の厄	17歳(1997生)	18歳(1996生)	19歳(1995生)
男25歳の厄	23歳(1991生)	24歳(1990生)	25歳(1989生)
女33歳の厄	31歳(1983生)	32歳(1982生)	33歳(1981生)
女37歳の厄	36歳(1978生)		
男42歳の厄	40歳(1974生)	41歳(1973生)	42歳(1972生)
男女61歳の厄	59歳(1955生)	60歳(1954生)	61歳(1953生)

※厄年は数え年で見ます。節分まで(1月1日から2月3日)の生まれは前年に入ります。





(主な行程)

10/30

6:30 12:20~14:00 14:10~15:00 15:25~16:10 16:50  
長野原~ゆのくにの森~那谷 (なた) 寺~北前船の里資料館~あわら温泉  
昼食 真言宗別格本山 まつや千千泊

10/31

8:30 9:30 13:15 15:05~15:30 20:00  
あわら温泉~大本山永平寺.....門前~ます寿司工房~長野原  
ご先祖様の供養、拝観 昼食

※宿泊ホテルのまつや千千(せんせん)はプロが選ぶ日本の旅館100選に13年連続入選中。  
源泉大浴場・露天風呂「千のこぼれ湯」は北陸最大級のスケールです。

優勝スピーチをする

